

夕刊 警城時報

日八十 印刷所加納活版所 発行所警城時報社 一部金貳銭一月金卅銭 廣告料一行十二字五十字 日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

ローラー自動車 河中に轉落 道路工夫惨死

十七日午前十時頃平町平土木監督所運轉手竹内七郎君(二七)が六噸のローラー自動車を運轉、工夫木村岩吉さん(四七)を同乗好間村地内を修理中、土橋の上に差しかつた際重量に堪え兼ねた土橋が破壊し十五尺の河中に轉落、岩吉さんはその下敷となり即死した、木村岩吉氏は去る九年九月から同所に雇はれ眞面目な工夫であつた、十九日午後二時から縣土木課國分屬、監督所全員參列葬儀が行はれる。ローラーは國道以外に使用出来なかつたものを同地先きは木村君の受持ち區域なので運轉手を促し地ならし三回の災禍であつた小林所長は語る。誠に遺憾でした、死体と車体は附近消防組員八十名のお蔭で案外早く引上げました。

平職業紹介所の 身賣防止成績 七十名を救ふ

世智辛い世の中が反映して更生の喜びを得たもの七十餘名の淵に沈まんとする可名の多數に達してゐる。昨以來實施された身賣防止七名を救つてをり何れも眞法の恵みによつて危い一步家の女中さんや女工となつて手前が相當救はれてゐるが、堅實な道を歩んでゐる。平職業紹介所でも之等氣の毒な境遇に追はれる幾多の子女に對し就職資金を貸付け救濟の手を差伸べ、この四倉警察署に於ては昨十七日澤渡村中寺市場で馬品評會を催はす事となつたが、

醫業類似の 實地調査

平署管内醫業類似行為者實地調査は今十八日午前十時から同署内に於て縣衛生課岡部警部、土屋衛生技手により行はれたが受檢者八十名に上つた。

鶏鳴會で講演會

四倉鶏鳴會に於ては来る二月十三日(舊正月三日)より十五日迄三日間毎夜午後七時より九時迄の間小學校の打合せの上執行すること、寒稽古は来る二十一日より三十日迄毎日午後三時より五時迄行なふが、但し柔道講師は片岡正龍先生である。毎日午後七時より九時迄會員外の一般希望者も觀迎で一般参加者を歓迎するとする。

無燈火自轉車の 取締りを要望 昨今の内郷村

最近滅切難れた無燈火の自出場六十頭以上。尙ほ十轉車乗りには一般住民は殆ど七日午前十時から平團體事など困つて居る。殊に内郷村は協賛事項左の如くである。甚だしく悪路のため充分にさけるに困難であり、其他は道路の巾が狭く往々正面衝突の慘事多く、全く夜の通行は恐ろたるものがあり其の筋の徹底的取締りを要する向が多い。

馬品評會

石城産馬畜産組合では馬匹増進のため来る三月二十五日澤渡村中寺市場で馬品評會を催はす事となつたが、

加藤丈夫氏逝去 二十日告別式

福島貯蓄銀行頭取加藤丈夫氏は宿痾の肉腫を病み療養中の處十七日午前六時半内郷村小島の自宅で死去した享年五十歳、葬儀は二十日午後一時自宅出棺平町松堂院で佛式により告別式を行つた。

四倉町會

加藤氏は平町舊藩に生れ警中第六回卒業生で東京警記専修學校卒業、陸軍後備少尉として平町在郷軍人會創立に盡力し副會長となり、大正元年には二十六歳の若冠で平町會議員に當選、後内郷村小島の現任所に移り村議に當選する事四期、實業界方面でも大立物で加藤營業所、不二タックを経営し、昭和七年には福島貯蓄銀行頭取に就任し平支店新築を終え今日に至つた。

坑夫の惡事

十數回の窃盜 警崎村第二警城炭礦坑夫同郡赤井村西小川生れ渡邊重(三二)は昨年十月同坑内からダイナマイト發火器價格八十圓を窃取した外湯本町その他で十三回に亘り窃盜を働り十七日湯本町で賣込み中平署員に逮捕された、尙ほ被害額は五百餘圓に達してゐる。

宮道路 改修に着手

内郷村宮道路は損傷甚だし、夜分の通行殊に降雨時は泥田等に等しく是れが修理方を再三陳情せるも昨秋縣道として縣へ移管直後のため該豫算なく行詰つた、あつたが、此程村當局は村土木費から約四百八十八圓を縣へ寄附破損のため自動車重運車の通行を禁止されてゐる。砂利敷路面の高低修理に着手した。

磯上所長 湊に榮轉

水戸專賣局平出張所長磯上左源太氏は湊出張所長に榮轉二十四日午前十時四十一分平發で赴任する氏は、岩崎村出身、警中第四回卒業した宮直井商店協の橋梁並び大生、明治四十一年水戸地方に砂利敷路面の高低修理に須賀野之助(同)佐藤義助

疾走中の 車から飛降る

全治一月の重傷 十七日午前十一時頃石城郡内郷村警城炭礦運轉手永岡義誠(二五)がトラックを運んで同村白水地内街道を疾走中同乗の同坑支柱夫佐藤岩吉(四四)が突然飛降り今十八日町會を開催し一月の重傷を負つた。

カクテル 初キクヒテデノ352 イストン サロン

コンボーク 塩豚 平町田町 三三三三三 電話三三三三番

赤毛馬車門 野木家慶事 内郷村御野野木家では十八日午前十時から賀野啓治氏と同村小島鈴木吉之助氏二女、(三〇)と平町郵便局保険部長木田貞次夫妻の媒酌で婚約なりその結婚披露式を行ふたが頗る盛大の由、新郎啓治氏は警中出身にして平郵便局保險部へ勤務中にして其の才腕は將來を約されてゐる新進の士である、新婦は平町藤田女學校家政科出身で卒業以來兩親の下に在つて人と云ふ才媛である。

鯛 ちり	五十銭	かきなべ	三十銭
鯛 なべ	五十銭	ねぎなべ	三十銭
鯛 ちりなべ	五十銭	煮込なべ	三十銭
ちりなべ	三十銭	ななべ	三十五銭
はもなべ	三十銭	ななべ	三十五銭
あんこなべ	三十銭	ななべ	三十五銭
いかなべ	三十銭	ななべ	三十五銭
よせなべ	三十銭	ななべ	三十五銭
えび天	三十銭	ななべ	三十五銭
えびフライ	三十銭	ななべ	三十五銭
えび天ぶら	三十銭	ななべ	三十五銭
あんこもす	二十銭	ななべ	三十五銭
かきフライ	二十銭	ななべ	三十五銭
かきフライ	二十銭	ななべ	三十五銭
かきフライ	二十銭	ななべ	三十五銭

魚清食堂
電話六三三

優秀なる専門技術
完備せる試験設備
モーター修理工場新設
平町月見町
佐藤鐵工所
電話三六二番

北川外科
平町新川町二七 (諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次
電話四六四番

豆炭特賣
一、品川豆炭 大袋五廿八入金七十五銭
小袋壹貫久入金二十銭
品質豆炭界ノ最良品
壹袋カラ配達致シマス、ドラゾ御用命願ヒマス
平驛前
電話三七番 阿部石炭商店

かまのぼん大造
折詰仕出
お惣菜用さつま揚・吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

魚召すぶら
ヒシマル凍魚
鋼 マナ鯉 ワカサギ
エヒ甘鯛 帆立貝
白魚 カナ頭 うに貝焼
日本産手特約 (電話三八三六番)
平町製氷會社
電話五二八番

吉田眼科院
平町細尾町 (電話六八番)

互融會事業近況
融通、至三月卅一日現在
報告ノ奉仕
精神修養講習會
會員ノ吉凶慶弔
會員相互見舞
人事相談及婚姻ノ媒介
診療救急ノ補助
會費ノ代納事務取扱
會報後刊
勤儉日積立金ノ奨励
小春本金ノ相互融通
社員數 五、九三七口
世帯數 四、〇一〇戸
積立金五三、九八二、二二二銭
融通數 一、一三一〇
融通金額七、〇七五、七
融通金回収高 七、二四八、三〇

石城中小商工互融會
太平火災海上保險株式會社中央代理店
事務所 福島縣平町播磨小路一番地
小名濱方部 湯本方部
小名濱町古港 湯本町天王崎
菊田方部 湯本支部
植田町臺町 原町東一番町

開業廣告
齒科一般
平町田町 (安濟醫院向)
齋藤醫院
東京齒科 醫學士 齋藤賢三

仙魚店
干やなぎの御注文は
いか切込
是非 美味：体裁優美は
當店のモットーです
鰹節・糠辛
鮮魚仕出し 丸仙
電話六六二番

謹啓加藤丈夫豫而病氣療養
中の處藥石効無く十七日午前
六時半死去致候間此段御通知
申上候 敬具
追而葬送の儀は來る二十日午後一時自宅出
棺平町松堂院に於て佛式相替可申候
一月十七日
嗣子
加藤政正 加藤正茂
加藤江正 加藤盛一
堀本盛次 板橋長次郎
森本盛次 猪狩守
友人總代 青沼鋒太郎

開院
皮膚科 泌尿器科 花柳病科 專門
診療 午前八時ヨリ
午後九時マデ
時間 午後九時マデ
平町田町 (山内醫院跡)
江尻醫院
入院隨意 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
(入院のお需に應ず)
平町田町藤田女學校前
(自炊の所あり) (電話五八番)

鈴木醫院
電話五八番